

会計ソフト実務能力試験の特徴

1. 完全な実技試験である事

(知識問題はありません)

PC上に試験問題が表示される形式ではなく、問題用紙と解答用紙(マークシート)が配られます。問題文の指示に従って下記の作業を実施します。

- ①データ作成
- ②残高登録
- ③現金出納帳を参照して入力
- ④小切手帳控えなどから預金データ入力
- ⑤普通預金帳で預金データ入力
- ⑥売上・仕入台帳から売上・仕入データ入力
- ⑦手形台帳から手形データ入力

ここでいったん、決算整理前データでの解答(21問)

- ⑧決算整理仕訳入力

ここで、決算整理後データでの解答(9問)

トータル2時間となっています。

2. いかに効率よく60点をとるか?

<合格ラインは60点以上と低いこと

<マークシート提出であるがゆえの対策

<簿記一巡という性格からの対策

この3点をイメージすれば、何度も同じ問題で練習し、2時間で25~6問解答できるようになれば(同じ問題を毎日3~4回解けば、通常は大丈夫です)、合格ラインに達する事は比較的簡単です。

では、ホワイトボードで簡単に、そのテクニックを説明しましょう